

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org

深刻な財源不足

皆さん、こんにちは。立春が過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いています。今頃になつてインフルエンザも流行つていいようです。くれぐれもご自愛ください。

さて、昨年十月十二日、厚生労働省から唐突に障害保健福祉政策の改革案（グランドデザイン案）が公表されました。政府は今国会で所要の法改正を行ふ方針のようですが、

利用者負担増を盛り込んだ改革案の内容を巡って、障害者や福祉関係者の皆さんから多くの問題点が指摘されています。

そもそも、ことの発端は平成十五年度からスタートした

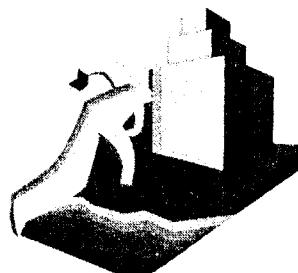
支援費制度です。利用者には好評でした。しかし、好評であるということは利用量が嵩むことを意味します。支援費制度の財政負担は初年度から予算を大幅に上回り、二年目の今年度も既に四百億円近い財源不足に陥っています。

身体障害者三百五十二万人、

知的障害者四十六万人、精神障害者二百五十九万人、日本全国で実に合計六百五十七万人。人口の5%、二十人に一人の割合です。誰もが障害に見舞われるリスクがあります。不運にして障害を抱えた人たちを、如何にサポートするかという問題は全国民が共有すべき課題でしょう。

それにもしても、厚生労働省の見通しは甘いですね。青天井で制度をスタートさせれば、利用量が嵩むのは当然です。年金財政の見通しの甘さと共通する厚生労働省の体質を象徴しています。

とは言え、財源不足に陥っている以上、利用者サイドの協力も不可欠です。何らかの工夫で公的支援のスリム化に取り組む必要があります。また、政府の懐具合についてもよく考えなくてはなりません。



覚王山ゾウノコナー

—— 覚王山近辺の名店を続々紹介します！ ——

〈今回は、「書家 山内美鳳」さんです〉

今月号では、これまでと少し趣向を変え、弘法大師ゆかりの地、四国讃岐生まれの書家、**山内美鳳(やまうちひほう)**さんをご紹介します。

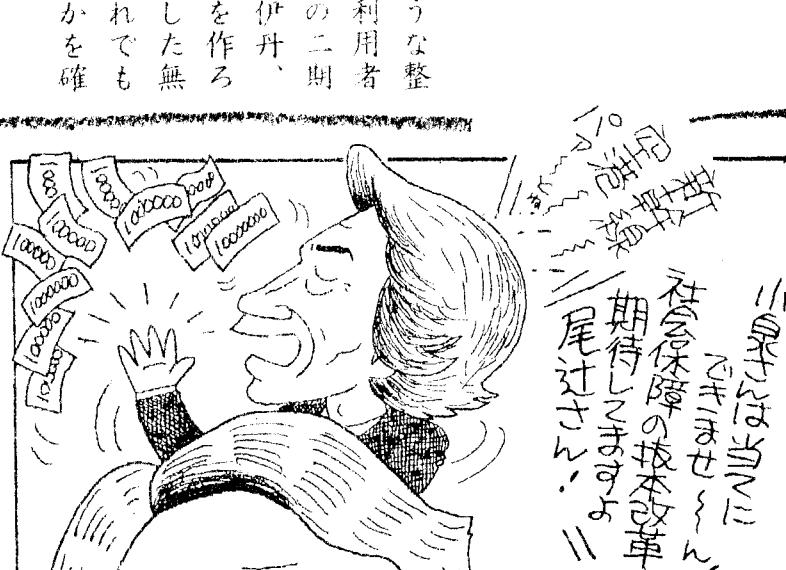
山内さんは現在、千種区にお住まいでの、筆文字ロゴデザイン、書道パフォーマンス、賞状・命令書などの筆耕全般、オリジナルオーダー作品、筆文字ウエルカムボードなど、毛筆を使うあらゆる作品作りに精力的に取り組んでいます。

これまで国家公務員として活躍された山内さんですが、皆様に書を気軽に楽しんでいただきたいと、昨年、書家として独立されました。なんと書道歴は**30年**、書に関する数々の賞を受賞してきた芸術家なのです。

目を引いたのは、特許申請中の「毛筆ネイル」。指先でいつも書の作品を楽しむことができるのだと。書と一口に言っても様々なのですね。このコーナーのタイトル文字も山内さんの作品です！ご興味のある方はさっそくホームページをのぞいてみては？

<http://www.naomi-produce.com/>

うな整
利用者
の二期
伊丹、
を作ろ
した無
れでも
かを確
よ！



深刻な財源不足 「まずムダ遣いの見直しを！」